

2025年度 経営学部 FD 活動報告書

2025年度の経営学部のFD活動では、全学のFD方針に基づき、以下の取り組みを中心に実施した。

1. 基礎的スキルの育成、基幹科目の強化、105分化授業への対応

① 基礎スキルの育成

2025年5月～11月に月一回のペースで、ランチミーティングをおこない、教員間で学習の状況などを共有しながら、「基礎演習」の授業デザインと教材を改善し、コミュニケーション、情報収集、企画立案、プレゼンテーション能力の向上を目指した。特に**基礎演習**においては、チームワークの醸成を促進するため、後期のプロジェクト課題について、議論を行い、より実践的な活動を導入した。各学期末（7月と12月）には、学生へのアンケートやインタビューを実施してスキルの習熟度を評価した。2026年1月には学生への振り返りアンケートも実施し、学生の意見、学習効果や課題を共有した。この取り組みにより、次年度に向けたプロジェクトの質をさらに向上させることができた。

② 基幹科目の強化

基幹科目の質的向上と教育効果の最大化を目的として、各科目群における現状の課題整理と改善方策の検討を継続的に実施した。具体的には、科目領域ごとに担当教員による領域ミーティングを開催し、授業内容、到達目標、評価方法、および履修者の学修成果の状況について共有・検証を行った。その上で、課題の抽出と改善策の具体化を進め、継続的なカリキュラム改善に取り組んだ。

とりわけ「ゼミナール入門」および「ゼミナール」科目については、教育内容と実践性の強化を重点課題と位置づけ、教育手法および科目編成の見直しについて重点的に協議した。フィールドワーク（現地調査、企業および地域のニーズに基づく新製品開発提案、マーケティング企画立案等）を中核とするPBL（課題解決型学習）型ゼミナールへの刷新を基本方針とし、従来の学術型ゼミナールの廃止を含む再編案について検討を行った。これにより、実社会との接続性を高めた実践的学修体制への移行方針が整理され、次年度に向けた基幹科目強化のための制度的・運営的基盤を整備することができた。

③ 105 分化授業への対応

105 分化授業への移行に伴う教育運営上の影響および学修効果を把握するため、前期終了時点において、教員および学生を対象としたヒアリング調査を実施した。その結果、授業時間の延長については、全体として概ね好意的に受け止められていることが確認された。一方で、集中力の維持、授業構成、演習時間の配分等に関するいくつかの課題も明らかとなったため、これらの問題点と対応策について教員間で共有し、改善に向けた検討と議論を行った。

当該ヒアリング結果を踏まえ、後期に向けて授業設計や進行方法の見直し、アクティブラーニング要素の拡充、授業内活動の時間配分の最適化など、具体的な改善策を講じ、授業の質の一層の向上を図った。

さらに、後期において学部長が実施した授業評価の結果を活用し、評価の高い授業の公開・見学機会を設けた。これにより、優れた授業実践の共有と教授法の相互学習が促進され、教員の授業改善意識の向上と教育の質的強化につながった。

2. 学生の構成が変化中での最適な授業づくり

学生構成の多様化、とりわけ外国人留学生の増加を踏まえ、学修到達度および大学生活への適応を支援する観点から、授業内容および指導方法の見直しを進めた。その結果、学修支援と実践的トレーニングを組み合わせた、より効果的な授業運営を実施することができた。

さらに、学修支援室との連携体制を強化し、授業運営上の課題や学生の理解状況に関する情報共有を継続的に行っている。これにより、外国人留学生の学修上のつまずきや支援ニーズを早期に把握し、授業設計および指導方法へのフィードバックを反映させる仕組みを整備した。こうした連携的支援を通じて、多様な背景を持つ学生に対応した授業づくりを推進している。

3. 学部 FD 研修：効率的な採点について

2025 年度は、経営学部において新任教員が多く着任したことに加え、105 分授業への改定もあり、期末試験のみならず小テスト等を含めた、公平かつ効率的な採点方法について、教員間で議論が行われる場面も見られた。

こうした状況を踏まえ、学部内において下記の FD を実施したところ、教員から好評を得ることができた。

FD テーマ：「『マークシート読取君』の使い方講座」

講師：鈴木優典 教授

時間：9月24日（水）大学連絡会議後

場所：50号館1階第1会議室

4. 【次年度申し送り事項】（検討事項・改善・向上方策等）

AIを活用した課題提出や記述式問題の採点への対応については、学部内において教員間で議論が行われてきた。今後は、全学FDとして、あるいは学部内において、このような実践的内容を扱う研修の機会が設けられれば、非常に有意義であると考えられる。